



りゅうせい通信

竜王西小学校

全国学力・学習状況調査結果結果について

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

◆この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

◆調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・（数学）／（英語）に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

◆学力調査結果からみられる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国の正答率との差が大きく、課題が見られます。「読むこと」に関しては、文章を概観してとらえたり、詳細を的確に押さえたりする力は定着しており、日頃の取組の成果が見られます。一方で、漢字の読み書きや「話すこと・聞くこと」に関わり、話し手の意図をとらえながら聞くことに課題が見られます。
- ・算数の平均正答率は全国の正答率とほぼ同程度であり、一定の定着が見られます。特に「図形」や「数と計算」の領域に関しては、概ね全国よりも正答率が高く、日頃の取組の成果が見られます。一方で、「数量関係」については正答率が低く、問題を的確に捉え立式したり式の意味を正確に理解したりすることに課題が見られます。

◆質問紙調査から見える本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向が認められる項目

「自分には、よいところがあると思いますか。」「人が困っているときは、進んで助けていますか。」「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。」について、高い数値を示しています。子どもたち自身が大切にされる環境の中で、自己肯定感を高め、お互いを大切にすることを様々な機会を通じ学んでいる様子がうかがえます。

• 課題となる項目

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」「新聞を読んでいますか。」「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。」については、全国と比べ、全体的に低い数値を示しています。そのため今後、活字に触れる機会やICTを活用する機会を増やすことで、漢字の読み書きの定着や、今後重視されるプログラミング的思考の育成につなげていきたいと考えています。

2 これからの取り組みについて

◆学校で取り組んでいくこと

- 引き続き、基礎的・基本的な学力の向上を図っていきます。小テスト等で既習内容の定着を図ります。また、主体的、対話的で深い学びのできる授業づくりを進めます。子どもたちがしっかりと学習課題を捉え、互いのよさを生かしながら協働で学習に取り組み、一つ一つの課題を解決していく達成感や成果を実感し、次への学びの意欲を育む授業を作り出します。
- 理由や根拠を明確にしながら自分の考えを持ち、それを交流させることで他者を理解し、自分の考えもより深めることのできる学習活動を積極的に取り入れ、論理的思考力や協調性を高めます。
- 学校での読書の時間と家庭での読書（家読）との連携を強め、子どもたちがより読書に親しむよう取り組みを充実させます。

◆家庭において取り組んでいただきたいこと

- 「家読」の時間を決め、親子読書やお子さんの音読を聞くなど、親子で取り組むようお願いいたします。また、学校の出来事から新聞、ニュース等で話題のことなど幅広い内容での親子の会話の充実も大切にしてください。
- 「家庭学習の手引き」を参考にいただき、子どもたちがさらに自発的に学習に取り組めるよう、励ましの声かけをお願いします。
- 家庭での仕事の分担を通して自分の役割を果たしたり、地域の活動に積極的に関わらせたりして、子どもたちの自己有用感や共感力、思いやりの心を育てましょう。

※このお知らせにつきましては、竜王西小学校のホームページにも掲載します。